

福祉サービス第三者評価結果報告書

事業者名 おおつか福祉会 おおつか保育園

1. 評価実施機関

名称	(株)ワールド測量設計
所在地	〒693-0013 島根県出雲市荻杼町 274-2 (0853)24-8133 fax(0853)25-0299

2. 事業者情報

【平成 19 年 9 月 18 日現在】

事業所名称： おおつか保育園	サービス種別： 保育所
開設年月日： 昭和 53 年 4 月	管理者氏名 澄田牧子
設置主体： 社会福祉法人 おおつか福祉会	代表者 職・氏名 理事長 萬代輝正
経営主体： 社会福祉法人 おおつか福祉会	代表者 職・氏名 理事長 萬代輝正
所在地： 〒693-0063 島根県出雲市大塚町 790-1	
連絡先電話番号： 0853-23-4384	FAX 番号： 0853-21-7294
ホームページアドレス //www.izumo.ne.jp/~oh/index.html	E-mail oh@ml.izumo.ne.jp

基本理念・運営方針
基本理念・基本方針(法人) 多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供できるように創意工夫する。利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成されるよう、又はその有する能力に応じ自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援する。 1) 多様でかつ総合的な支援サービスを展開する 行政機関と福祉間の連帯・連携強化 乳幼児の最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進する 老人の基本的な人権を尊重し、適切な処遇を行う 2) 人材育成、職員研修の充実 専門知識・技術習得への研鑽

事故防止対策(技術、サービス、資質向上の体制作り)

3) 広報、情報(ネットワーク)

4) 地域社会への貢献

地域に開かれた施設として、いろいろな行事の展開

子育て相談の役割充実

多面的な子育て支援の増進

信頼され必要とされる介護サービスの充実

安心できる生活援助及び自立支援のプログラム策定

住宅介護サービスの提供

家庭復帰に向けての生活リハビリ(在宅日常生活訓練、リハビリの充実)

利用者、家族との連携

保育理念・基本方針(保育所)

体温の通い合う愛情に満ちた環境のもとで、生き生きと意欲的な保育を創造します

障害児保育を保育の根底に据え、育ちあうよりよい関係の保育をめざします

- * 食育を積極的に進めます
- * 自然の中での様々な感動体験を通して、豊かな感性を育てます
- * 絵本の読み聞かせを通して想像力や豊かな言葉を身につけます
- * 異年齢交流を通して生きる力を育てます
- * 生活リズムを整えます

【利用者の状況】

(平成 19 年 9 月 18 日現在)

	入所定員	利用者数		入所定員	利用者数
総数	150 名	176 名	障害児保育	- 名	3 名
0 歳児	9 名	14 名	産休明け保育	- 名	0 名
1 歳児	24 名	31 名	延長保育	- 名	12 名
2 歳児	28 名	27 名	夜間保育	- 名	0 名
3 歳児	38 名	31 名	休日保育	- 名	0 名
4 歳児	30 名	39 名	一時保育	5 名	3 名
5 歳児	21 名	37 名	病後児保育	4 名	2 名
6 歳児	0 名	0 名	その他	- 名	0 名

延長保育および一時保育の利用者数は 1 日あたり

【職員の状況】

(平成 19 年 9 月 18 日現在)

職種	勤務区分				常勤換算	基準職員数	
	常勤		非常勤				
	専従	兼務	専従	兼務			
管理者	2 名	名	名	名	名	名	
保育士	29 名	名	3 名	名	1.9 名	名	
看護師	2 名	名	名	名	名	名	
栄養士	1 名	名	名	名	名	名	
調理員	2 名	名	名	名	名	名	
事務員	1 名	名	名	名	名	名	
嘱託医	名	名	名	3 名	0.1 名	名	
その他	2 名	名	2 名	名	名	名	
計	35 名	名	5 名	3 名			
前年度の採用・退職の状況			採用	常勤	3 名	非常勤	0 名
			退職	常勤	1 名	非常勤	0 名
常勤職員の平均勤務年数			6.3 年		当施設での通産勤続年数		
常勤職員の平均年齢			33 歳				

3 . 評価の総評

特に評価の高い点

法人並びに保育所としての理念・基本方針や保育目標が明確にされ、職員並びに保護者に対しても周知に努め、理事長並びに管理者の社会福祉法人としての運営に対する意欲がうかがえます。

中・長期的計画においては、現在の園の状況を的確に把握し、園児数や各施設面を考慮に入れ、園舎改築計画という具体的な目標を立て、プロジェクトチームの発足・運営等、積極的に活動されています。

職員の質の向上に対しては、講習会や研修会への参加の他に、各種の勉強会が継続して実施されており、保育の質の向上に結びついているものと思われます。

実習生やボランティアの受け入れが積極的に行われており、また老人ホームとの定期交流や園庭開放等、地域との交流等も活発で、法人の理念に基づく活動が実践されていることがうかがえます。

今回のアンケート調査結果に対しては、職員間で話し合いすぐに課題点の抽出と改善計画が作成されるなど、対応の速さは印象的で、サービスの質の向上に対する意欲が感じられました。

保育理念や基本方針を踏まえ、職員一丸となって熱心に保育に取り組まれています。特に“食育”や“異年齢教育”及び“障害児保育”に関しては積極的で、高い評価が得られるものと思われます。

また病後時保育室の併設・運営は当園の大きな特徴です。

改善を求められる点

外部監査と人事考課並びに自己評価は今年度末から実施される予定ですが、これらの結果は更に次の段階として改善計画に結びつけられることが望まれます。

各種の勉強会・検討会・個別懇談等においても、その都度問題点や対応方法についての記録を残す習慣を付けましょう。また、出席できなかった職員に対しても、記録を回覧し、情報の共有化を図りましょう。

各部署毎の人員体制等を明文化し、人材の確保・育成等の指標とすることをお勧めします。

保護者の要望・意向等是对応結果と共に文書化して残しておくことが望まれます。また保育園の各種の行事については、その内容と目的・趣旨について保護者の十分な理解を得ておくことが望まれます。

ケース会議の検討結果は、当初の指導計画に対する経過記録も残るように、記載方法や書式の変更を検討してはいかがでしょうか。

入園時のアセスメントは十分ですが、今後は入園後のアセスメントについても把握すべき項目及び課題を明確にし、指導計画に反映させることをお勧めします。

4 . 大項目別の評価の概要

[共通評価項目]

- 1 理念・基本方針

保育所としての理念・基本方針に基づき保育目標及び保育方針が立てられています。また法人としての理念・基本方針もホームページで明確にされています。
保護者に対しては“入園のしおり”で、また職員に対しては明記したカードを配布するなどして周知に努めています。

- 2 計画の策定

将来的な改築計画を踏まえた概略的な中・長期計画は立案されており、そのための行動もプロジェクトチームが発足され進められていますが、より具体的な項目を明確にして各年度毎の達成度を確認していくことが望めます。
年度当初の事業計画等は、文書の配布や保護者会で説明がなされています。今後は全ての保護者に対して十分な説明を行い、また確実に伝わっているかのチェック体制を整えることをお勧めします。

- 3 管理者の責任とリーダーシップ

管理者自らが職務内容を明文化しています。また職員と共に法令遵守に対する外部研修会へも積極的に参加しています。
各部署毎及びグループ毎の検討会の開催や外部の経営分析等を実施するなど、積極的に指導力を発揮しています。今後は、検討結果に対する評価と改善策を文書化していくことをお勧めします。

- 1 経営状況の把握

保育所数や園児数等の周辺環境を把握し、課題に対する改善策として外部による経営分析を実施する等、積極的に取り組んでいますが、より具体的な問題点の把握と改善策の検討が望めます。
今年度末から外部監査を実施される予定です。今後は監査結果を活用し、より充実した経営分析及び経営改善を実施していきましょう。
組織体制は機能的であり、部署別の他にグループ単位での活動も行われています。

- 2 人材の確保・育成

具体的なプランは伺えますが、文書化されていないため不明瞭になっています。現在人員は十分に充足していますが、各部署毎の人員体制等を明確にしておくことをお勧めします。
人事考課の手順書は整備されており、今年度末から実施される予定です。
職員の質の向上に対しては、各種の勉強会が継続して実施され、効果的に運営されています。
職員の意見や意向を把握する仕組みはありますが、十分活用されていないようです。職員との個別懇談結果は文書にして残し、具体的な意見や意向に対しては誠実な対応が必要でしょう。

福利厚生事業は積極的であり、また職員の教育・研修等の質の向上に対しても、積極的かつ継続的に取り組んでいます。

実習生の受入れも毎年実施されており、適切かつ積極的に取り組んでいます。

- 3 安全管理

感染症発生時や事故発生時の対応マニュアルが整備されており、またヒヤリハットの事例報告並びに分析と対応策の検討が行われています。

遊具の定期点検も実施されており、組織的な取り組みが行われています。

- 4 地域との交流と連携

行事開催の地域への案内や老人ホームとの定期的交流，中学生ボランティアの受入れ，園庭開放，各種実習や講習会の開催等、地域との交流は活発に行われています。

関係機関との連携は適宜対応していますが、あらかじめ検討項目を抽出し定期的に継続することをお勧めします。

地域の福祉ニーズに対しても取り組みを行っていますが、十分とは言えないようです。

土曜日の保育方針等についても、保護者に対してより十分な説明と理解を得ることが必要と思われます。

- 5 個人情報保護

規程を整備し、入園時には保護者に説明をした上で同意書を頂いています。職員間でも個人情報の保護と管理については周知徹底されています。

- 1 利用者本位の福祉サービス

一人ひとりの子供を尊重した保育の基本計画に基づき指導計画が立てられ、定期的な評価又は配慮点等の形で改定されています。

保護者の意見・要望・意向及び苦情解決に対してもマニュアルが整備され、早急に対応すべきことは職員会議で検討を行い迅速に対応していますが、保護者の要望・意向等は対応結果と共に何らかの形で文書化して残しておくことが望まれます。また相談場所等の環境は整えられていますが、十分に活用されていないようです。個別面談に部屋を利用するなどして、話がしやすい環境であることを実感してもらうことも必要ではないでしょうか。

- 2 サービスの質の確保

自己評価の実施手順書は整備され、年度末に行う予定です。また今回のアンケート調査結果に基づき、課題点の抽出と改善計画が作成され、実施可能な項目は既に改善が進んでいます。

保育の標準的な実施方法についても、“保育実施マニュアル”が整備されており、その他のマニュアル類と共に、課題点が抽出され順次改定が実施されています。

個々の保育に係わる実施記録は関係する全職員に周知されており、また記録の保管・保存・廃棄に関する規定が文書化され適切に管理されています。

ケース会議は毎週実施していますが、障害児を除けば、課題のある児童に対する配慮点の記録のみが残っています。全員を対象としたコメントの記録が残るように、記載方法や書式の変更を検討してはいかがでしょうか。

- 3 サービスの開始・継続

入園時には必要事項は全て文書にして配布し、十分な説明が行われています。また保育の継続に関しては“引継ぎノート”作成され、活用されています。

- 4 サービス実施計画の策定

入園時のアセスメントは“園児カード”で、入園後は連絡帳や週案日誌で実施されています。ただし、特定の項目については十分把握されていますが、その他の課題に対しては十分とは言えず、把握すべき項目及び課題を明確にし、指導計画に反映させることをお勧めします。

【付加基準】

A - 1 子どもの発達援助

当園独自の保育の基本方針に沿った活動が実施されています。

特に“食育”については、野菜を育て収穫し調理することに始まり、戸外での食事やバイキング等、食事を楽しむ工夫が至る所で認められます。また新鮮な食材、体に優しい調味料や食器にもこだわり、暖かい手作りの食事の提供は、保護者からも高い評価を受けています。

クラス単位の異年齢交流も活発に行われ、3・4歳児は混合クラスが編成されていますが、混合クラスに関しては年齢に即した配慮も必要と考えられるため、年齢別のカリキュラムの作成をお薦めします。

健康管理面では入園から就学まで使える健康管理表をはじめ、マニュアルも整備され、年間を通してうがい・手洗い並びに環境に配慮した疾病予防の取り組みが実施されています。

乳児保育では、手厚い保育士の配置の中でゆったりと保育が行われています。登園時の様子や午睡の状態等の記録も詳細に取られ、一人ひとりに目が行き届いている様子が感じられます。

長時間保育に関する配慮は十分なされていますが、意味合いを再認識され、指導計画への明記や引継ぎ等において更なる努力が望まれます。

障害児保育では柔軟に環境整備が行われ、専任保育士の確保、専門機関や保護者との連携により、子供同士がお互いを受入れ共に育ち会っている様子が見て取れます。

事例検討会、未満児会、以上児会、虹の会(障害児保育)、ごちそうの会、大きな木の会等多くの定期的な話し合いが開催され、各種のカリキュラムの見直しが随時行われているのが当園の長所であると思います。

A - 2 子育て支援

子育て講演会、離乳食・幼児食の調理実習、一日保育士体験など、保護者も職員も共に学ぶ機会が積極的に設けられています。

今回のアンケート結果からもうかがえますが、保護者の期待する情報が十分に伝わっていない面もあるようです。今後も外部によるアンケート調査等で保護者の要望・意見等の把握することをお薦めします。

一時保育は子供の状態や保護者のニーズに配慮した保育が行われ、在宅親子を対象とした子育て支援活動は内容も豊富で参加者も多く、地域の子育て支援の一端を担っています。

当園には市内初の病後時保育室が併設されており、専任看護師が主治医や嘱託医師と連携し、病後児や保護者を支援していることは、大きな特徴です。

A - 3 安全・事故防止

安全管理や事故防止に関してはマニュアルも整備され、園内の設備・遊具の点検や、様々な災害を想定した避難訓練等も熱心に行われています。

ヒヤリハット報告書は全職員で検討されていますが、土曜日保育に対しては比較的事例が多く見られることから、更なる検討課題の抽出が望まれます。

5 . 評価細目の第三者評価結果

青字の項目は、当評価機関が独自に設定したものです。

評価対象 福祉サービスの基本方針と組織

- 1 理念・基本方針

	第三者評価結果
- 1 -(1) 理念、基本方針が確立されている。	
- 1 -(1)- 理念が明文化されている。	a・b・c
- 1 -(1)- 理念に基づく基本方針が明文化されている。	a・b・c
- 1 -(2) 理念や基本方針が周知されている。	
- 1 -(2)- 理念や基本方針が職員に周知されている。	a・b・c
- 1 -(2)- 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	a・b・c

- 2 計画の策定

	第三者評価結果
- 2 -(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	
- 2 -(1)- 中・長期計画が策定されている。	a・b・c
- 2 -(1)- 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	a・b・c
- 2 -(2) 計画が適切に策定されている。	
- 2 -(2)- 計画の策定が組織的に行われている。	a・b・c
- 2 -(2)- 計画が職員や利用者等に周知されている。	a・b・c

- 3 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果
- 3 -(1) 管理者の責任が明確にされている。	
- 3 -(1)- 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a・b・c
- 3 -(1)- 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	a・b・c
- 3 -(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	
- 3 -(2)- 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	a・b・c
- 3 -(2)- 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	a・b・c

評価対象 組織の運営管理

- 1 経営状況の把握

	第三者評価結果
- 1 -(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	
- 1 -(1)- 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a ・ b ・ c
- 1 -(1)- 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	a ・ b ・ c
- 1 -(1)- 外部監査が実施されている。	a ・ b ・ c
- 1 -(2) 機能的な組織体制がつけられている。	
- 1 -(2)- 適切な管理運営が可能な職制となっている。	a ・ b ・ c
- 1 -(2)- 迅速な対応ができる機能的な組織体制となっている。	a ・ b ・ c

- 2 人材の確保・養成

	第三者評価結果
- 2 -(1) 人事管理の体制が整備されている。	
- 2 -(1)- 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a ・ b ・ c
- 2 -(1)- 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	a ・ b ・ c
- 2 -(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	
- 2 -(2)- 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a ・ b ・ c
- 2 -(2)- 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	a ・ b ・ c
- 2 -(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
- 2 -(3)- 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a ・ b ・ c
- 2 -(3)- 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	a ・ b ・ c
- 2 -(3)- 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a ・ b ・ c
- 2 -(4) 職員の主体性を尊重し、意欲を引き出している。	
- 2 -(4) - 職員一人ひとりが主体的に判断し、行動できる職場環境を作っている。	a ・ b ・ c
- 2 -(4) - 一人ひとりの日頃の気付きや工夫を職員全体が共有する職場環境を作っている。	a ・ b ・ c

- 2 -(5) 実習生の受け入れが適切に行われている。	
- 2 -(5)- 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	a ・ b ・ c
- 2 -(5)- 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	a ・ b ・ c

- 3 安全管理

	第三者評価結果
- 3 -(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	
- 3 -(1)- 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a ・ b ・ c
- 3 -(1)- 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a ・ b ・ c

- 4 地域との交流と連携

	第三者評価結果
- 4 -(1) 地域との関係が適切に確保されている。	
- 4 -(1)- 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a ・ b ・ c
- 4 -(1)- 事業所が有する機能を地域に還元している。	a ・ b ・ c
- 4 -(1)- ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a ・ b ・ c
- 4 -(2) 関係機関との連携が確保されている。	
- 4 -(2)- 必要な社会資源を明確にしている。	a ・ b ・ c
- 4 -(2)- 関係機関等との連携が適切に行われている。	a ・ b ・ c
- 4 -(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	
- 4 -(3)- 地域の福祉ニーズを把握している。	a ・ b ・ c
- 4 -(3)- 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a ・ b ・ c

- 5 個人情報の保護

	第三者評価結果
- 5 -(1) 情報の保護と共有に取り組んでいる。	
- 5 -(1) - 個人に関する情報は、適切に保護・管理されている。	a ・ b ・ c

評価対象 適切な福祉サービスの実施

- 1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果
- 1 -(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	
- 1 -(1)- 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	a ・ b ・ c
- 1 -(1)- 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a ・ b ・ c
- 1 -(2) 利用者満足の向上に努めている。	
- 1 -(2)- 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	a ・ b ・ c
- 1 -(2)- 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	a ・ b ・ c
- 1 -(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	
- 1 -(3)- 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a ・ b ・ c
- 1 -(3)- 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	a ・ b ・ c
- 1 -(3)- 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a ・ b ・ c

- 2 サービスの質の確保

	第三者評価結果
- 2 -(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	
- 2 -(1)- サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a ・ b ・ c
- 2 -(1)- 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	a ・ b ・ c
- 2 -(1)- 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	a ・ b ・ c
- 2 -(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。	
- 2 -(2)- 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	a ・ b ・ c
- 2 -(2)- 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a ・ b ・ c
- 2 -(3) サービス実施の記録が適切に行われている。	
- 2 -(3)- 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	a ・ b ・ c

- 2 -(3)- 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a ・ b ・ c
- 2 -(3)- 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a ・ b ・ c

- 3 サービスの開始・継続

	第三者評価結果
- 3 -(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	
- 3 -(1)- 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a ・ b ・ c
- 3 -(1)- サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a ・ b ・ c
	第三者評価結果
- 3 -(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	
- 3 -(2)- 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a ・ b ・ c

- 4 サービス実施計画の策定

	第三者評価結果
- 4 -(1) 利用者のアセスメントが行われている。	
- 4 -(1)- 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a ・ b ・ c
- 4 -(1)- 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	a ・ b ・ c
- 4 -(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	
- 4 -(2)- サービス実施計画を適切に策定している。	a ・ b ・ c
- 4 -(2)- 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a ・ b ・ c

評価対象 A - 1 子どもの発達援助

	第三者評価結果
1 - (1) 発達援助の基本	
A - 1 - (1) - 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	a ・ b ・ c
A - 1 - (1) - 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	a ・ b ・ c
1 - (2) 健康管理・食事	
A - 1 - (2) - 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a ・ b ・ c
A - 1 - (2) - 健康診断・歯科検診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a ・ b ・ c
A - 1 - (2) - 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	a ・ b ・ c
A - 1 - (2) - 食事を楽しむことができる工夫している。	a ・ b ・ c
A - 1 - (2) - 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a ・ b ・ c
A - 1 - (2) - 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a ・ b ・ c
A - 1 - (2) - アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a ・ b ・ c
1 - (3) 保育環境	
A - 1 - (3) - 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a ・ b ・ c
A - 1 - (3) - 生活の場にふさわしい環境とする取り組みを行っている。	a ・ b ・ c
1 - (4) 保育内容	
A - 1 - (4) - 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	a ・ b ・ c
A - 1 - (4) - 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	a ・ b ・ c
A - 1 - (4) - 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	a ・ b ・ c
A - 1 - (4) - 身近な自然や社会と関れるような取り組みがなされている。	a ・ b ・ c
A - 1 - (4) - 子どもが歌やリズム、絵などさまざまな活動をとおして自由に表現できるように配慮されている。	a ・ b ・ c

A-1-(4)- 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	a・b・c
A-1-(4)- 子どもの人権に十分配慮すると共に、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	a・b・c
A-1-(4)- 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	a・b・c
A-1-(4)- 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	a・b・c
A-1-(4)- 長時間にわたる保育の為の環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a・b・c
A-1-(4)- 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a・b・c
A-1-(4)- 子供の成長・発達段階に応じて、話す力や聞く力を育てるよう配慮している。	a・b・c

評価対象 A - 2 子育て支援

	第三者評価結果
2 - (1) 入所児童の保護者の育児支援	
A-2-(1)- 保護者と日常的な情報交換に加え、保護者と共通理解を得るために保護者が保育参加できる機会を設けている。	a・b・c
A-2-(1)- 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	a・b・c
A-2-(1)- 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	a・b・c
2 - (2) 一時保育	
A-2-(1)- 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	a・b・c

評価対象 A - 3 安全・事故防止

	第三者評価結果
3 - (1) 安全・事故防止	
A-3-(1)- 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	a・b・c

A-3-(1)- 食中毒の発生時に対応出来るマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員に周知されている。	a・b・c
A-3-(1)- 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。	a・b・c
A-2-(1)- 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a・b・c
A-2-(1)- 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a・b・c
A-2-(1)- 病後時保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	a・b・c

6 . 利用者調査の結果(別紙)

青字の項目は、当評価機関が独自に設定したものです。

	質問項目	回答	計	無回答	その他
問1	保育所が保育を実施する上での基本的な考え方や方針を知っていますか	はい いいえ	7 8 2 9		
	【はいの場合】 保育を実施する上での基本的な考え方や方針には納得していますか	はい なんともいえない いいえ	7 1 6 1		
	【はいの場合】 実際に入所してみて、日頃の保育サービスは基本的な考え方や方針と一致していますか	はい なんともいえない いいえ	6 5 9 0	4	
問2	保育士や他の職員は親切、丁寧に対応してくれますか	はい 時や人により違う いいえ	8 7 1 8 0	2	
問3	「自分が秘密にしたいこと」を他人に知られないように配慮してくれますか	はい 時や人により違う いいえ	9 7 5 0	2	3
問4	保育について保護者の意向に関する調査が定期的に行われていますか	はい いいえ	6 8 3 0	2	7
問5	不満や要望を気軽に話したり、伝えたりすることができますか	はい ことがらにより違う いいえ	5 7 4 6 4		
問6	お子さんや保護者の要望・意見をもとに、改善が行われていますか	はい いいえ	9 3 6	5	3
独自 問a	さまざまな相談や意見を親身になって受けとめてくれていると思いますか	はい なんともいえない いいえ	8 7 1 9 0	1	
問7	あなたが要望したことが他の職員にも伝わっていますか	はい 分からない いいえ	3 5 7 0 1	1	
問8	保育士や他の職員の保育姿勢はだいたい同じですか（職員によって言うことやすることに違いがありませんか）	はい 違う事がある	9 1 1 3	2	1
問9	地域の子育て家庭(保育所に入所していない家庭も含めた)の子育て相談や交流会など、保育所の開放を積極的にしていると思いますか	はい なんともいえない いいえ	9 3 1 2 2		

問 10	保育所の中でけがをしたことがありますか	はい いいえ	6 3 4 3	1	
	【はいの場合】 保育士の適切な対応があれば避けることができたものですか	はい なんともいえない いいえ	4 4 7 1 2		
問 11	この項目は、過去 1 年以内に利用を始めた方だけに伺います この保育所の内容について説明がありましたか	はい いいえ	3 5 3		
	【はいの場合】 その説明は分かりやすかったですか	はい いいえ	3 3 2		
	【はいの場合】 実際に入所してみて、説明どおりでしたか	はい なんともいえない いいえ	2 9 5 1		
問 12	献立や栄養・食べ方などが工夫されていますか	はい 知らせがなく分からない いいえ	1 0 5 1 0		1
問 13	お子さんが生活するところは心地よく過ごせる雰囲気ですか	はい いいえ	1 0 7 0		
問 14	お子さんの発育や意欲を促すような遊具・玩具などが十分に用意されていますか	はい いいえ	1 0 4 2		1
問 15	園外では身近な自然や社会に接する機会が多いですか	はい いいえ	1 0 7 0		
問 16	お子さん一人ひとりに合わせた豊かな感性を育む活動・遊びが行われていますか。	はい いいえ	1 0 4 1	1	1
問 17	異年齢の子ども同士の交流が活発に行われていますか	はい いいえ	1 0 0 3	2	2
問 18	お子さん一人ひとりの個性や生活習慣などの違いが尊重されていますか	はい いいえ	9 5 2	4	6
問 19	送迎時の対話や連絡帳その他の方法などで、日々のお子さんの様子を知る事が出来ますか	はい いいえ	1 0 2 5		

問20	子育てに関する気がかりな点や悩みについて相談しやすいですか	はい 人により違う いいえ	68 36 2	1	
問21	保護者が参加しやすいような行事日程が組まれていますか	はい どちらともいえない いいえ	78 25 2	2	
問22	登園時にお子さんの様子について把握・確認がありますか	はい いいえ	70 29	5	3
問23	インフルエンザなどの感染症が発生した時には、発生について説明がありますか	はい 知らせがなく分からない いいえ	101 2 0	3	1

7. 事業者の自己評価結果(別紙)

青字の項目は、当評価機関が独自に設定したものです。

評価対象 福祉サービスの基本方針と組織

- 1 理念・基本方針

	自己評価結果
- 1 -(1) 理念、基本方針が確立されている。	
- 1 -(1)- 理念が明文化されている。	a・b・c
- 1 -(1)- 理念に基づく基本方針が明文化されている。	a・b・c
- 1 -(2) 理念や基本方針が周知されている。	
- 1 -(2)- 理念や基本方針が職員に周知されている。	a・b・c
- 1 -(2)- 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	a・b・c

- 2 計画の策定

	自己評価結果
- 2 -(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	
- 2 -(1)- 中・長期計画が策定されている。	a・b・c
- 2 -(1)- 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	a・b・c
- 2 -(2) 計画が適切に策定されている。	
- 2 -(2)- 計画の策定が組織的に行われている。	a・b・c
- 2 -(2)- 計画が職員や利用者等に周知されている。	a・b・c

- 3 管理者の責任とリーダーシップ

	自己評価結果
- 3 -(1) 管理者の責任が明確にされている。	
- 3 -(1)- 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a・b・c
- 3 -(1)- 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	a・b・c
- 3 -(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	
- 3 -(2)- 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	a・b・c
- 3 -(2)- 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	a・b・c

評価対象 組織の運営管理

- 1 経営状況の把握

	自己評価結果
- 1 -(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	
- 1 -(1)- 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a・b・c
- 1 -(1)- 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	a・b・c
- 1 -(1)- 外部監査が実施されている。	a・b・c
- 1 -(2) 機能的な組織体制がつけられている。	
- 1 -(2)- 適切な管理運営が可能な職制となっている。	a・b・c
- 1 -(2)- 迅速な対応ができる機能的な組織体制となっている。	a・b・c

- 2 人材の確保・養成

	自己評価結果
- 2 -(1) 人事管理の体制が整備されている。	
- 2 -(1)- 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a・b・c
- 2 -(1)- 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	a・b・c
- 2 -(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	
- 2 -(2)- 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a・b・c
- 2 -(2)- 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	a・b・c
- 2 -(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
- 2 -(3)- 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a・b・c
- 2 -(3)- 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	a・b・c
- 2 -(3)- 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a・b・c
- 2 -(4) 職員の主体性を尊重し、意欲を引き出している。	
- 2 -(4) - 職員一人ひとりが主体的に判断し、行動できる職場環境を作っている。	a・b・c
- 2 -(4) - 一人ひとりの日頃の気付きや工夫を職員全体が共有する職場環境を作っている。	a・b・c

- 2 -(5) 実習生の受け入れが適切に行われている。	
- 2 -(5)- 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	a ・ b ・ c
- 2 -(5)- 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	a ・ b ・ c

- 3 安全管理

	自己評価結果
- 3 -(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	
- 3 -(1)- 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a ・ b ・ c
- 3 -(1)- 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a ・ b ・ c

- 4 地域との交流と連携

	自己評価結果
- 4 -(1) 地域との関係が適切に確保されている。	
- 4 -(1)- 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a ・ b ・ c
- 4 -(1)- 事業所が有する機能を地域に還元している。	a ・ b ・ c
- 4 -(1)- ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a ・ b ・ c
- 4 -(2) 関係機関との連携が確保されている。	
- 4 -(2)- 必要な社会資源を明確にしている。	a ・ b ・ c
- 4 -(2)- 関係機関等との連携が適切に行われている。	a ・ b ・ c
- 4 -(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	
- 4 -(3)- 地域の福祉ニーズを把握している。	a ・ b ・ c
- 4 -(3)- 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a ・ b ・ c

- 5 個人情報の保護

	自己評価結果
- 5 -(1) 情報の保護と共有に取り組んでいる。	
- 5 -(1) - 個人に関する情報は、適切に保護・管理されている。	a ・ b ・ c

評価対象 適切な福祉サービスの実施

- 1 利用者本位の福祉サービス

	自己評価結果
- 1 -(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	
- 1 -(1)- 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	a ・ b ・ c
- 1 -(1)- 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a ・ b ・ c
- 1 -(2) 利用者満足の向上に努めている。	
- 1 -(2)- 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	a ・ b ・ c
- 1 -(2)- 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	a ・ b ・ c
- 1 -(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	
- 1 -(3)- 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a ・ b ・ c
- 1 -(3)- 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	a ・ b ・ c
- 1 -(3)- 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a ・ b ・ c

- 2 サービスの質の確保

	自己評価結果
- 2 -(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	
- 2 -(1)- サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a ・ b ・ c
- 2 -(1)- 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	a ・ b ・ c
- 2 -(1)- 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	a ・ b ・ c
- 2 -(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。	
- 2 -(2)- 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	a ・ b ・ c
- 2 -(2)- 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a ・ b ・ c
- 2 -(3) サービス実施の記録が適切に行われている。	
- 2 -(3)- 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切	a ・ b ・ c

に行われている。	
- 2 -(3)- 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a ・ b ・ c
- 2 -(3)- 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a ・ b ・ c

- 3 サービスの開始・継続

	自己評価結果
- 3 -(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	
- 3 -(1)- 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a ・ b ・ c
- 3 -(1)- サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a ・ b ・ c
	自己評価結果
- 3 -(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	
- 3 -(2)- 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a ・ b ・ c

- 4 サービス実施計画の策定

	自己評価結果
- 4 -(1) 利用者のアセスメントが行われている。	
- 4 -(1)- 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a ・ b ・ c
- 4 -(1)- 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	a ・ b ・ c
- 4 -(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	
- 4 -(2)- サービス実施計画を適切に策定している。	a ・ b ・ c
- 4 -(2)- 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a ・ b ・ c

評価対象 A - 1 子どもの発達援助

	自己評価結果
1 - (1) 発達援助の基本	
A - 1 - (1) - 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	a ・ b ・ c
A - 1 - (1) - 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	a ・ b ・ c
1 - (2) 健康管理・食事	
A - 1 - (2) - 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a ・ b ・ c
A - 1 - (2) - 健康診断・歯科検診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a ・ b ・ c
A - 1 - (2) - 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	a ・ b ・ c
A - 1 - (2) - 食事を楽しむことができる工夫している。	a ・ b ・ c
A - 1 - (2) - 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a ・ b ・ c
A - 1 - (2) - 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a ・ b ・ c
A - 1 - (2) - アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a ・ b ・ c
1 - (3) 保育環境	
A - 1 - (3) - 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a ・ b ・ c
A - 1 - (3) - 生活の場にふさわしい環境とする取り組みを行っている。	a ・ b ・ c
1 - (4) 保育内容	
A - 1 - (4) - 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	a ・ b ・ c
A - 1 - (4) - 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	a ・ b ・ c
A - 1 - (4) - 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	a ・ b ・ c
A - 1 - (4) - 身近な自然や社会と関れるような取り組みがなされている。	a ・ b ・ c
A - 1 - (4) - 子どもが歌やリズム、絵などさまざまな活動をとおして自由に表現できるように配慮されている。	a ・ b ・ c

A-1-(4)- 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	a・b・c
A-1-(4)- 子どもの人権に十分配慮すると共に、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	a・b・c
A-1-(4)- 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	a・b・c
A-1-(4)- 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	a・b・c
A-1-(4)- 長時間にわたる保育の為の環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a・b・c
A-1-(4)- 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a・b・c
A-1-(4)- 子供の成長・発達段階に応じて、話す力や聞く力を育てるよう配慮している。	a・b・c

評価対象 A - 2 子育て支援

	自己評価結果
2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	
A-2-(1)- 保護者と日常的な情報交換に加え、保護者と共通理解を得るために保護者が保育参加できる機会を設けている。	a・b・c
A-2-(1)- 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	a・b・c
A-2-(1)- 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	a・b・c
2-(2) 一時保育	
A-2-(1)- 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	a・b・c

評価対象 A - 3 安全・事故防止

	自己評価結果
3-(1) 安全・事故防止	
A-3-(1)- 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	a・b・c

A-3-(1)- 食中毒の発生時に対応出来るマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員に周知されている。	a・b・c
A-3-(1)- 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。	a・b・c
A-2-(1)- 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a・b・c
A-2-(1)- 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a・b・c
A-2-(1)- 病後時保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	a・b・c

8. 第三者評価結果に対する事業者のコメント

理事長さんに勧められ第三者評価を受ける事になりました。生来の前向きな性格のせいでしょうか。‘何も五つ星が欲しくて第三者評価を受けるわけではないわ。評価をしてもらって悪いところは、そこからスタートして改善していけばいいのだ’と開き直すことは、とても早かったのです。ですから、職員にもそのような乗りで伝えました。結局、評価を受けること事については、皆がよく分からないままに、それでもなんとか出来るだろうと受けました。保育所によっては、全て準備万端整ってから受けるというやり方もあるでしょう。でも、私の場合はそれでは何年たっても受けられないように思いました。結果、終わってみて感じた事を率直にコメントしたいと思います。

・すがすがしい達成感 ・私達もやれば出来るのだという自信 ・皆で取り組んだという充実感 ・たくさんの気付き ・改善する事や課題が明確になった事で心が整理されすっきり など感じました。苦手な長期計画や、聞いたことも無かった職務分掌権限と言う事など戸惑う事もありましたが、保育所としての向かうべき方向や課題が見えてきた事は何より嬉しい事です。保護者の皆さんのアンケートからも多くの気付かなかった事がある事を知りました。当然伝わっていると思っていた事が伝わっていなかったという事が職員にも、保護者の方にも多くありました。職員皆が、保育園の色々な事を周知し、全員がビジョンに参加していくことの大切さを知りました。又、保護者の皆さんや地域に対しても、全ての事に園として説明責任がある事も学びました。これからは、しっかりと生かしていきたいと思います。